

2026年7月24日

日本の夏に旬を迎えるチリ産レモンを紹介 -チリ果物輸出協会がプロモーションイベント開催-

チリ果実輸出協会（Frutas de Chile）柑橘類委員会は、チリ産レモンの魅力をまとめた書籍の完成を記念して、7月23日（木）に都内の書店にて、業界関係者、報道関係者、インフルエンサーを対象に、チリ産レモンのプロモーションイベントを開催しました。



南半球に位置するチリでは、5月から10月にかけてレモンが旬を迎えます。そのため、日本で国産レモンの流通が少なくなる夏季に、チリ産レモンが需要を支えています。

今回制作された「チリ産レモンの物語：原産地から食卓まで」と題した書籍には、日本料理にチリ産レモンで爽やかなアクセントを加えたレシピも多数掲載されています。

イベントでは、チリ果実輸出協会柑橘類委員会のモンセラート・バレンズエラ会長が次のようにチリ産レモンの特長について説明しました。「清らかな環境で、豊富な日照と最適な気候のもとで育てられるチリ産レモンは、厳格な国際食品安全基準のもとで生産されています。業界全体が持続可能な農業を推進しており、卓越した品質だけでなく、環境への配慮や長期的な供給の安定性も確保しています。また、チリ産レモンは果汁が多く、香り高く、皮が薄く種も少ないため、家庭からプロの厨房まで幅広く活用できる信頼の食材です。」

イベント後半では、チリ産レモンの美味しさと幅広い活用方法を紹介するため、様々なフィンガーフードやデザート、ドリンクが供されました。



（左から）柑橘委員会会長 モンセラート・バレンズエラ、在日チリ大使館、農務・商務参事官、ヌリ・ディセニ氏、チリ果実輸出協会、欧州・アジアマーケティング・ディレクターのシャリフ・クリスチャン・カルバハル

チリ果物輸出協会（Frutas de Chile）柑橘類委員会について

チリ果物輸出協会内の組織である柑橘類委員会は、チリの柑橘類輸出業者を代表する団体です。2025年、チリは11万5,889トン以上の生鮮レモンを輸出し、その約14%の1万6,032トン*1が日本向けでした。これは米国に次ぐ第2の輸出先となります。チリ産レモンは日本の夏に旬を迎え、6月から10月の間の日本のレモン輸入量の80%以上*2をチリ産が占めています。

*1 出典：Frutas de Chile *2 出典：財務省貿易統計

問い合わせ先

チリ・フレッシュフルーツキャンペーン事務局 旭エージェンシー内 E-mail : frutasdechile@asahi-ag.co.jp

チリ産レモン プロモーションイベント 特別メニュー



レモン風味のセビーチェ・タルト

スモークサーモンとレモンクリームの特製タルティーン

レモンチキンのピンチョス

塩レモン入りホタテのムースとズッキーニのレモンロール

レモンコンフィと生ハムのカナッペ

コーンとレモンのムース

2層のレモンゼリー

レモンサブレ

緑茶ベースのレモネード

チリ・レモネード・スプラッシュ（ノンアル）

チリ産レモンのジントニック（アルコール入り）